

# たす て ふさわしい助け手

そうせいき  
創世記2：18～25



1. 正しい方を○で囲んでね。

「人が、( 遊ん ・ ひとり ) ているのは ( あぶ ・ 良く ) ない。  
わたしは彼のために、ふさわしい ( 猫の ・ 助け ) 手を造ろう。」

2. 神さまは、男の人の助け手を見つけるために、すべての動物に名前をつけさせました。それはどうしてですか？

名前をつけた動物の中に、ふさわしい助け手はいましたか？

3. 聖書に書いてあるとおりに、( ) の中にことばを入れてね。

そこで ( ) である主が、深い ( ) をその人に下されたので、彼は ( ) 。それで、彼の ( ) の一つを取り、そのところの ( ) をふさがれた。こうして神である主は、人から取った ( ) を、ひとりの ( ) に造り上げ、その ( ) を人のところに連れて来られた。

4. 正しいものに○をしてね (いくつでも)。

- ( ) 男の方が先に造られたので、男の人はいつもいばって良い
- ( ) 神さまの目には男も女も同じように大切だけど、それぞれちがう役割がある
- ( ) 人間は自分勝手に生きるよりも、神さまに造られた役割のとおり生きる方が幸せになれる
- ( ) 結婚のしくみは、神さまが造った